

メディアシップで出会う

万年筆

インクの

楽しみ方

2/23  
(日)

自筆で書くことを

「大人の嗜み」として

親しみませんか。

自身で選んだ筆記具、

インク、紙を用いて

文字を書く楽しさを

体験しましょう。

参加費／500円

※当日、受付にて現金で  
お支払いください。

開催日／2020年 2月23日(日)

場 所／新潟日報メディアシップ 2階日報ホール

時 間／13:00～17:00(12:30より受付) 定員／70名

●お手持ちの万年筆をご持参ください。※試筆万年筆もご用意しております。

## Schedule

●13:00～14:00

トークセッション「万年筆インクの楽しみ方」

盛り上がりを見せる「万年筆インク」。そのトレンドや楽しみ方を聞く。

●14:15～15:30

ワークショップ「インクと紙とペンと」

あの紙、この紙を使って文字を書き比べ。インクと紙とペンの相性を探る。

●15:40～17:00 交流会

●試筆万年筆もご用意しております。

●PENBOXによるオリジナルインク「雪彩」の販売もあります。



# Guest

武田健氏



## ライター、万年筆インク案内人、山田詠美研究家

1968年、東京生まれ。大学卒業後、4年間のサラリーマン生活を経て、2度目の大学に入学。その頃からライターとして活動を開始。主に現代文学やアジアンポップス、占いを専門とする。2010年、失恋をきっかけに手にした万年筆と万年筆インクに魅了され、SNSなどで手書きの面白さを発信し続けたところ、「趣味の文具箱」の編集者の目に留まり、コラムを書き始める。様々な文具店のオリジナルインクのプロデュースを手掛け、2019年にはTBSの人気番組にて「万年筆インクの世界」を紹介。同年10月、自身のブランド“KEN TAKEDA”を立ち上げ、ジャズをモチーフにしたオリジナルインクシリーズ「KEN'S NIGHT」を発売中。

小日向京氏



## 文具ライター

文具誌「趣味の文具箱」に万年筆をはじめとする筆記具、ノート、手帳などの記事を執筆。文具イベントに出演し、文具の魅力や楽しさを伝えている。幼少の頃より新聞の見出しを書き写していたことから、筆記具や紙によって変化する線の違いに興味を抱き、文具好きとなった。初めて万年筆を使ったのは授業のノートを書いた高校生の時。線だけでなく「力を加えずに速く書ける」ことに目覚め、いらい万年筆の世界に魅入られる。文具ライターとしての寄稿・イベントやテレビ出演の他に、伊勢丹新宿店ステーションナリー売場のアドバイザーをつとめ、あたぼう「飾り原稿用紙」「ふたふで筆」の監修を行うなど活動の幅を広げている。著書に「考える鉛筆」(アスペクト・2012年)、「惚ればれ文具 使ってハマったペンとノート」(榎出版社・2019年)がある。

## 申し込み方法

締切 2/18(火) 必着

はがき、FAX、メールにて、①名前 ②年齢 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレスを記入の上、お申し込みください。下のQRコード、ホームページ「新潟日報モア」からもお申し込みできます。

## 新潟日報社ふれあい事業部「万年筆インクの楽しみ方」係

〒950-8535 新潟市中央区万代3丁目1-1

Tel.025-385-7470 Fax.025-385-7446 (土・日・祝除く10:00~17:00)

✉ お申し込みメール

ms-jibunmigaki@niigata-nippo.co.jp



※当選者には参加証を発送いたします。※複数でのお申し込みをご希望の場合は、お手数ですが、お一人ずつお申し込みください。※お寄せいただいた個人情報は本イベントに関する連絡にのみ使用します。

〒950-8535 新潟市中央区万代3丁目1-1

◆主催 / 新潟日報社

◆協賛 / 文具館タキザワPENBOX

